

令和 4 年度事業報告書 (2022 年度)

社会福祉法人ももやま福祉会

目 次

1. はじめに	1
2. 施設概要	4
3. アトリエ班（向島・栂辻）	5
4. 漉き班.....	8
5. 相談支援事業	11
6. 共同生活援助事業・短期入所事業	12
7. 居宅介護事業	13
8. 手づくり市.....	14
9. 自治会.....	15
10. ボランティア	16
11. 研修・見学、実習.....	17
12. 理事会・評議員会・各種委員会開催状況	19
資料. 組織体制図.....	20

1. はじめに

◇ 理念

「人として豊かに生きる」

◇ 令和 4 年度基本方針

1) 事業運営について

効果的な職員配置を試行しながら、事業が円滑に行われていない箇所については、効果的な支援ができる体制づくりを行い、今年度は経営状況の把握と安定した経営に取り組みます。また、設備の老朽化により修繕が必要な箇所が増えてきています。機器についても入れ替えの時期が重なっており、買い替えの必要が重なっています。大規模な修繕が必要ないように、できるだけメンテナンスで対応していきます。

2) 職員の資質の向上

利用者の生活全般を支援するためにも、職員の資質の向上に取り組み、人として豊かに生きることが出来る支援を目指します。

職員が働きやすい環境を整え、職員が余裕を持って利用者への支援を行うためにも人材の確保に努めていきます。

職員研修を必要に応じて行い、職員の資質向上に努めます。

障がい者虐待防止について、年 2 回以上の研修を実施します。

3) コロナウィルス感染症への対応

令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症への対応に苦慮しました。現状では引き続き対応が求められることが予想されます。施設内での消毒や日常生活での予防を行っていても、感染を避けることは難しい状況ですが、利用者の生活の安定のためにもできるだけ対応の強化、徹底を行います。

4) 災害時の対応

近年、大規模災害の発生が見られます。利用者、職員の命を守るために防災研修を行い、災害時の対応について普段から取り組んでいきます。

5) 危機管理

苦情受付、事故報告、ひやり・ハット事例について職員間で共有し、再発防止に取り組みます。

◇ 年度を通じた振り返り

▽ 事業運営、コロナウィルス感染症への対応

令和 4 年度は、昨年度から取り組んだグループホームの月から金までの 4 泊 5 日開所を行う体制を 1 年間維持し、安定的に運営をしていくことに取り組んだ。

新型コロナウィルスの蔓延が続き、感染防止、拡大防止の取り組みを続けてきたが、体調不良者、陽性者の発生や予防的に欠席される利用者もおられたために施設運営に大きな影響があった。

なかでも、職員や利用者、その家族や関係者に陽性者、濃厚接触者が出た場合、感染拡大防止のための判断や、実施するタイミングが非常に難しく、どのようにして利用者の生活を支えることができるのか、判断が苦しい一年となった。

その中でも、日中支援を継続して利用する利用者については、できるだけ開所し、受け入れができる体制を整えた。

▽ 職員の資質向上

今年度は、近隣法人が開催するワークショップに職員 1 名を派遣した。1 年間にわたりプログラムが組まれており、内容的にも時間的にも参加職員にとっては負担が大きいものであったが、積極的に取り組んでくれた。内容としては自分の仕事を見直すよい機会であり、近隣の複数事業所の職員が参加しているので、ネットワークの輪を広げるよい機会となった。また、虐待防止研修や強度行動障害支援者養成研修に参加し、それぞれの職員の資質向上を図った。

▽ 災害時の対応、危機管理

避難訓練や水害時の徒歩での避難を想定した訓練を行った。また、今年度は異常な降雪があった日が 1 日あった。幸いなことにすべての利用者が降車していたため、自宅への送りができないという事態は避けることができたが、最終的に走行に支障を来すぐらいの積雪となってしまった。降雪時の対応については、指針は定められているが、天候の予想については難しさを感じた。

苦情相談、事故報告、ひやり・ハット事例の件数

苦情相談	1 件
事故報告	6 件（内、車両事故 4 件）
ひやり・ハット事例	3 件

▽ その他

行事については、コロナ禍以降中止していた手作り市を、参加者を利用者
に限定することから始め、11月には外部事業所の出店と保護者、関係者の方
も来所いただき、規模を大きくして開催することができた。加えて、今年も
地域のボランティア団体（向島福音自由教会様）を招いてのクリスマス会も
行うことができた。

また、新たにつながりができた文教大学ボランティアサークルとの関係
を強化し、自治会活動としてのキャンパス見学や手作り市へのボランティ
ア参加も始めることができた。

2. 施設概要

◇ 日中支援サービスの利用者状況（表の数字は全て（人））

生活介護事業（定員：向島（主たる事業所）20名 柳辻（従たる事業所）10名

年代	10	20	30	40	50	合計
男性	0	10	7	3	5	25
女性	0	2	0	4	1	7
合計	0	12	7	7	6	32

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	1	1	8	15	25
女性	0	0	0	2	1	4	7
合計	0	0	1	3	9	19	32

契約日数/週	1	2	3	4	5
人数	1	2	2	0	27

開所日数 253日 のべ利用者数 7,037人 利用率 93%

サービス管理責任者（常勤・兼務）1名 看護職員 1名

生活支援員 常勤職員 11名 非常勤職員 7名 （常勤換算 11.08人）

就労継続支援B型事業（定員 10名）

年代	10	20	30	40	50	合計
男性	0	1	1	2	2	6
女性	0	1	1	0	0	2
合計	0	2	2	2	2	8

障害支援区分	無	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	1	2	3	0	0	6
女性	0	0	1	0	0	1	0	2
合計	0	0	2	2	3	1	0	8

契約日数/週	1	2	3	4	5
人数	0	2	0	0	6

開所日数 253日 のべ利用者数 1,628人 利用率 64%

サービス管理責任者（常勤・兼務）1名

職業指導員（常勤）1名 生活支援員（非常勤）2名（常勤換算 2.4人）

就労支援事業収入 1,861,211円（昨年度決算 1,212,763円）

手作り市の再開や卒園証書体験者の増加などで増加しました

◇ 通所状況

住所地

エリア	人数	エリア	人数
向島	9	醍醐	6
淀・久我・羽東師	2	山科	1
伏見・桃山	3	南区	4
深草・竹田	3	グループホーム	12

通所手段

送迎車利用	自主通所	生活介護柳辻
26	7	7

3. アトリエ班（向島・栂辻）

◇ 利用者

利用者 19名（内 男性16名 女性3名 （向島：12名 栂辻：7名））

◇ 職員体制

正職員：6名（内 男6 女0） 非常勤職員5名（内 週5：2名 週4：1名 週3：2名）

◇ 2022年度方針

- ・ 健康、体力、歩行などの能力変化に対応してプログラム等により個別に対応していく。
- ・ 意思表示、自己決定など利用者の主体的な活動ができるように支援していく。
- ・ 四季の変化などをより体感できるよう近隣歩行などのプログラムを充実していく。
- ・ 栂辻での生活介護事業については製品作成などの活動を本格的に始動していく。

◇ 年間活動

▽ 向島

コロナ禍の不安はありつつも、和紙加工の作業や歩行活動を通じて、日々手先や身体の機能的な訓練を行い、日々の変化、移ろいを体感出来るように歩行場所、班内の色々な場所に和紙で様々な創作物を作り部屋の中に居ても今の季節を感じるような経験を得られるような企画や楽しみを提供できた。





◇ 栂辻

活動拠点を移して初めての一年間だったが、大きな事故なく活動出来た。最初は落ち着かない様子だったが、今ではすっかり居場所として定着した。また、GHと隣接していることもあり、状況や状態を細かく情報交換が出来ていた。

新たな取組として始めた再生紙作業から開発されたコースターの販売を開始することが出来た。その他、歩行の機会確保を積極的に行い、健康の増進、気分転換に繋がった。しかし、専従職員が少ないため、職員体制が安定せず、思いうような活動や支援が難しかった。



◇ 振り返り

今年度は昨年度後半から試験的に行っていた柶辻での活動を本格的に始動した 1 年だった。また、長く勤めていた職員 1 名が退職し、寂しい気持ちになられた利用者もいらしかった。

そういった周りの変化に対する利用者の気持ち、行動に現れない思いをくみ取り、対応することを念頭置いて活動する中で、新たな試みや活動に挑戦していく 1 年になった。

日々の活動の中で特に怪我、事故など利用者になきなご不安を与えることの無い 1 年に出来たことはよかった。次年度以降も利用者の皆様には安全で安心出来る環境の中で笑顔のある活動を行いたい。

4. 漉き班

◇ 利用者

利用者 22 名（内：男性 16 名 女性 6 名） 退所者 10 月男性 1 名

◇ 職員体制

正職員：4 名（内：男性 2 名 女性 2 名） 非常勤職員：5 名（内：男性 2 名 女性 4 名）（週 5 勤務 1 名 週 3 勤務 5 名）

◇ 方針

- ・ 屋外での活動に取り組んでいく
- ・ 怪我なく健康に配慮していく

作業(生活)

- ・ 皆が作業に取りくめるようにする
- ・ 作業中に関わる時間を増やし取り組む

作業(就労)

- ・ 作業中に集中して取り組む
- ・ 正確に丁寧に取り組めるように習熟度を上げる

◇ 作業（下請け、和紙製品）

下請けを中心に取り組んだ。前年度から継続して 2 件の下請け先と取引できたため、閑散期が少なく、一年を通して作業に取り組めた。

また、下請けの忙しくない時や作業に参加することが難しい利用者も和紙作業に取り組む事で、全員が作業に関わる事が出来た。他の作業として、アルミ缶の回収や分別の作業にも取り組んだ。





◇ 歩行訓練

繁忙期は全員が作業に関わらないといけなため、歩行訓練に行けない時期があるが、その中でも、定期的に歩行のプログラムを行った。また、外に行けない時には施設内を職員と一緒に歩く機会を作って、歩行の機会を作るようにした。



◇ 成人式

漉き班で成人になられる方がいらっしゃったので、班の利用者主体で成人を祝う集いを行った。利用者での司会やお祝いの言葉、そして成人を迎えられた方の生い立ちをDVDのスライドショーを皆で鑑賞し、新成人をお祝いした。



◇ 振り返り

作業面に関しては、昨年度から引き続き、2事業者から下請け作業をいただいたことで、年間を通して作業に取り組む事が出来た。作業に関わる際に、環境整備や作業内容などを配慮する事で、一人一人が何らかの形で作業に関わる事が出来た。

毎日の下請けの作業がある中でも、プログラムを工夫することで、歩行等の定期的な活動にも取り組んだ。

今年度は一人の方が成人を迎えられ、久しぶりに成人のお祝いする事が出来た。

年度途中で1名の方が退所されたことは残念ですが、大きなけがや事故なく全員が活動に参加できた事は良かった。

次年度も大きな事故等を未然に防いでいける様に、職員間での連絡、情報共有を密にしていきたい。

5. 相談支援事業

◇ 実績

月	その他	月	その他
4	計画 0 名、モニタリング 11 名	10	計画 1 名、モニタリング 9 名
5	計画 4 名、モニタリング 7 名	11	計画 6 名、モニタリング 6 名
6	計画 3 名、モニタリング 7 名	12	計画 5 名、モニタリング 7 名
7	計画 5 名、モニタリング 9 名	1	計画 3 名、モニタリング 11 名
8	計画 2 名、モニタリング 11 名	2	計画 4 名、モニタリング 9 名
9	計画 3 名、モニタリング 8 名	3	計画 3 名、モニタリング 9 名
		合計	計画 39 名、モニタリング 104 名 総件数 143 名

利用状況

9 月で契約終了（生活介護事業退所に伴い）

2 月で契約終了（事業所移行のため保護者の意向により終了）

昨年度との対比

ぐんぐんハウス退所に伴い、他事業所移行のため契約終了とされた方が 2 名おられたが、昨年度と比べて大幅な増減はなかった。

総件数は昨年同様に 143 件となった。

2021 年度	計画 42 名 モニタリング 101 名 総件数 143 名
昨年度対比	計画 3 名減、モニタリング 3 名増 総件数 同数名

6. 共同生活援助事業・短期入所事業

◇ 共同生活援助

▽ 利用者状況

契約者数 17 名

▽ 職員体制

13 名（内正規職員 6 名、非常勤職員等 7 名）

▽ 振り返り

今年度もコロナ禍の中、感染対策の徹底しながら、利用者の生活支援を実施した。

契約者 17 名を職員 13 名で生活をサポートし、月曜日から金曜日を中心に安定して開所することが出来た。

コロナで閉所を余儀なくされた事もあったが、利用者もホームに慣れ、安定して通所施設とも連携し、運営することが出来た。

◇ 短期入所事業

▽ 利用者状況

契約者数 16 名

▽ 振り返り

今年度もコロナ禍の中、感染対策の徹底しながら事業を実施した。

今年度はグループホームの空床型短期入所事業として実施した。コロナ感染に伴う閉所等もあったが、利用者の希望に沿うよう調整した。今年度も職員配置等が課題で、女性の短期入所が実施出来なかった。

7. 居宅介護事業

◇ 利用者状況

契約者数 28 名

◇ 職員体制

5 名（内正規職員 4 名、非常勤職員 1 名、アルバイト 1 名）

◇ 振り返り

今年度も昨年に引き続きコロナ禍の中、感染対策の徹底、活動時間の短縮や比較的人が少ない場所を検討しながら、利用者の外出や通院介助を実施した。

契約者 28 名を職員 5 名で地域生活をサポートしてきた。

支援内容としては、土曜日、日曜日の余暇支援が中心としながらも、コロナ対応での通院介助や家事援助等も実施し、健康面でも安心できるよう支援を行った。

8. 手づくり市

◇ 目的

- ①年に4回開催して利用者の工賃向上を目指す
- ②地域での交流を深める
- ③他施設と協力して交流を深める
- ④利用者の販売参加の機会を作る

◇ 協力団体

新型コロナウイルスの影響があり、開催のやり方を変えて施設を少なくした。

特) すぎなハウス	福) 成望館	福) 京都障害者福祉センター 京都市だいが学園
福) 伏見ふれあい福祉会 京都ふれあい工房	福) うめのき福祉会 城陽作業所	一般) 京都手をつなぐ育成会 山科工房

◇ 振り返り

5月・9月感染防止策をして開催方法を保護者への注文販売とぐんぐんの利用者に向けての販売にした。11月は、他施設や後援会や保護者にも来ていただき規模を大きくして開催した。

合計3回であったが、注文の数も多く、利用者も楽しんでいる様子であった。久しぶりに他施設による販売もあり、活気が戻った。



9. 自治会

コロナ禍で活動の制限があったが、屋外の活動として、施設の敷地内の環境整備を中心に活動した。また、対外活動として、文教大学ボランティアサークルの協力の下、キャンパス見学に訪問した。年度末には役員の方に感謝状をお渡しし、労をねぎらった。

◇ 5月 マリーゴールドの苗植え



◇ 6月、9月 草抜き



◇ おつかれさん会（自治会役員に感謝状授与）



10. ボランティア

文教大学ボランティアサークル REACH と連携し、利用者のキャンパス見学や手作り市への協力依頼ができた。また、連絡会議も行い、良い関係を気づくことができた。また、向島福音自由教会の有志の方によりクリスマス会を開催することができた。

◇ キャンパス見学（10月12・19日）



◇ 手作り市 5月



9月



◇ クリスマス会



11. 研修・見学、実習

◇ 研修

- 5月20日（金）イマジン主催公開セミナー①
 - 27日（金）イマジンワークショップ①
- 6月10日（金）イマジンワークショップ②
 - 17日（金）イマジンワークショップ③
 - 23日（木）強度行動障害支援者養成研修（実践）1日目
 - 24日（金）強度行動障害支援者養成研修（実践）2日目
- 7月13日（水）強度行動障害支援者養成研修（基礎） 1日間+web 講義
- 8月9日（火）強度行動障害支援者養成研修(南山城主催)1日間+web 講義
 - 19日（金）相談支援スキルアップ研修①
- 9月1日（木）強度行動障害支援者養成研修(南山城主催)1日間+web 講義・
 - 16日（金）イマジン主催公開セミナー②
 - 27日（火）感染症対策セミナー
- 10月12日（水）京都府サービス管理責任者等更新研修南部2・
 - 14日（金）イマジンワークショップ④
 - 20日（木）京都府障害者虐待防止・権利擁護研修 pmのみ+web 講義
 - 24日（月）相談支援スキルアップ研修②
 - 28日（金）イマジンワークショップ⑤
- 11月18日（金）イマジン主催公開セミナー③
 - 25日（金）イマジンワークショップ⑥
 - 28日（水）京都市虐待防止権利擁護研修
- 12月9日（金）イマジンワークショップ⑦
 - 15日（木）相談支援スキルアップ研修③
 - 23日（金）イマジンワークショップ⑧
- 2月24日（金）相談支援スキルアップ研修④

◇ 見学・実習受け入れ

団体名	受入日
施設見学 (学生)	4/19
施設見学 (利用者)	6/7
施設見学 施設実習 (利用希望者)	8/26
社会福祉現場実習 (京都女子大学)	9/1～16
社会福祉現場実習 (京都医療)	9/21～30
施設見学 施設実習 (利用希望者)	10/25～26
社会福祉現場実習 (京都医療)	11/28～12/9
社会福祉現場実習 (京都医療)	12/5～16
保育実習 (京都光華女子大学)	1/25～2/8
保育実習 (京都女子大学 2 名)	1/30～2/10
社会福祉現場実習 (京都女子大学)	2/7～22
保育実習 (京都女子大学)	2/13～2/24
保育実習 (京都女子大学)	2/27～3/10
社会福祉現場実習 (京都女子大学)	3/13～22

12. 理事会・評議員会・各種委員会開催状況

◇ 理事会

	開催日	主な決議事項
第1回	令和4年5月24日	・令和3年度 事業報告案について ・令和3年度 事業決算報告案について (監事監査報告について) ・令和4年度 第1回評議員会の開催について
第2回	令和4年10月18日	・慶弔見舞金規定の改定について
第3回	令和4年12月1日	・京都信用金庫からの借入金の借り換えについて
第4回	令和5年3月2日	・令和5年度事業計画案について ・令和4年度補正予算案について ・令和5年度事業予算案について ・運営規定の改定について ・役員及び評議員等の報酬等に関する規定の改正について ・役員賠償保険の締結について ・令和4年度 第2回評議員会の開催について ・令和4年度京都市社会福祉法人指導監査の実施結果の報告

◇ 評議員会

	開催日	主な決議事項
第1回	令和4年6月9日	・令和3年度 事業報告案について ・令和3年度 事業決算報告案について (監事監査報告について)
第2回	令和4年3月28日	・令和5年度事業計画案について ・令和4年度補正予算案について ・令和5年度事業予算案について ・令和4年度京都市社会福祉法人指導監査の実施結果の報告

資料. 組織体制図

